

日本赤十字社神奈川県支部に「救急車両」贈呈に伴う

感謝状の受贈について

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）と神奈川県福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、日本赤十字社神奈川県支部に対して、協会発足当初から継続して支援を行っています。

今年度は、災害時に医師や看護師等の医療スタッフが乗車し、資機材を搭載して災害現場に急行する救急車両の整備を支援しました。

これに対し、加藤勝信厚生労働大臣から、感謝状をいただきました。

1. 日時	令和2年7月21日（火）
2. 場所	神奈川県遊技場協同組合会館
3. 感謝状贈呈者	加藤勝信厚生労働大臣
4. 受贈者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会

5. 概要

神奈川県遊技場協同組合と神奈川県福祉事業協会は、昭和60年の協会設立以来、様々な社会貢献活動を実施してまいりましたが、日本赤十字社神奈川県支部に対しては、協会発足当初から継続して支援を行っており、これまで血液運搬車や医療器具などを助成してきました。

東日本大震災以後は、災害時対応の通信指令車、器材搬送車両、救急車など、災害現場で活用する車両をはじめ、被災者に配布する援護物資の整備、更に昨年は、被災地でのライフライン確保を目的として、特に医療現場で電源を確保することが難しく従来の発電機では騒音や排気ガスなど救護活動への悪影響が課題であることから、リチウムイオン蓄電池を支援しました。

今年度は、災害時に医師や看護師等の医療スタッフが乗車し、資機材を搭載して災害現場に急行する救急車両の整備を支援しました。同救急車は、10月に発生した台風19号の災害の際に福島県に医療救護班を派遣し、傷病者への応急手当や巡回診療等に従事しました。

これに対し7月21日、神奈川県遊技場協同組合会館において、日本赤十字社神奈川県支部松森繁事務局長から厚生労働大臣感謝状をいただきました。

この贈呈式の模様は、神奈川新聞に掲載され、タウンニュースでも紹介されました。

